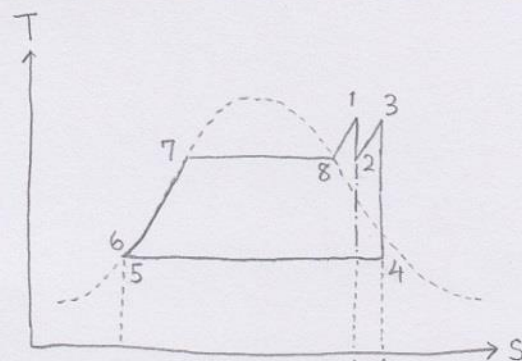
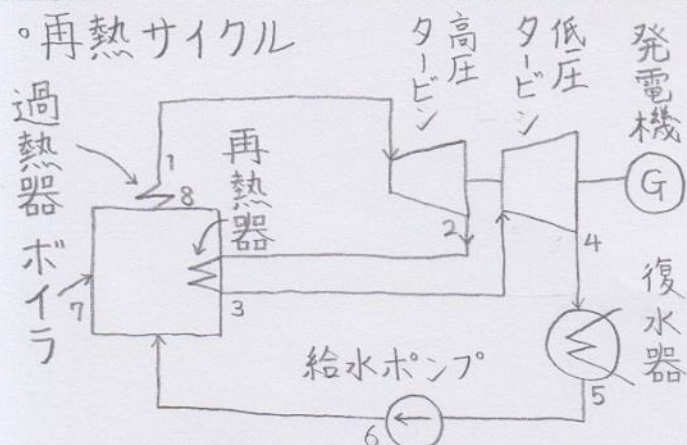


120. 再熱サイクルと再熱再生サイクル

・再熱サイクル



この分効率が向上する

ランキンサイクルの効率を上げるためには、蒸気の圧力か温度を上げる方法がある

① 圧力を上げる → タービン排気の湿り度(増)

→ { タービン内の損失(増)

タービン翼の腐食などが発生

② 温度を上げる

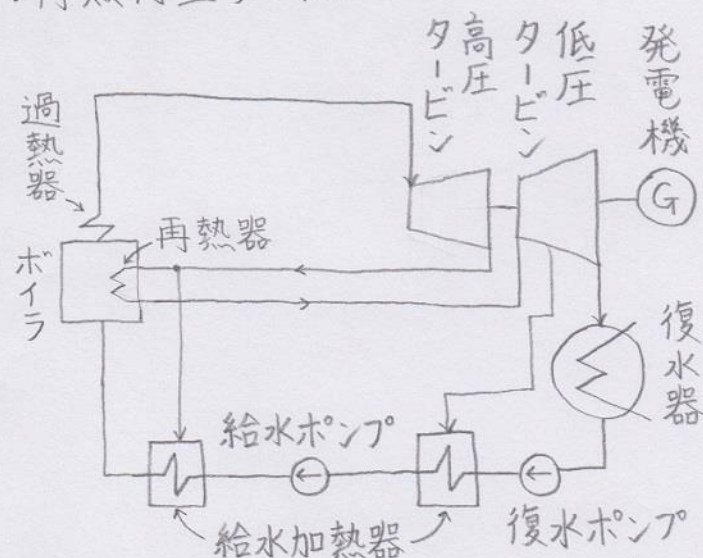
→ 金属材料の強度や価格などの問題が発生

汽力発電の効率を上げるために、再熱サイクルというものもある

これには再熱器が必要

再熱サイクルでは、タービン内で膨張の途中、圧力が下がった蒸気を、再びボイラで加熱する

・再熱再生サイクル



再熱サイクルと再生サイクルの長所を兼ね備えたもの

再生サイクルと再熱サイクルは、併行して使えるのね

大容量の汽力発電のほとんどに採用されている